

川崎市市民ミュージアム × KAWASAKI しんゆり映画祭 共同開催

映画監督 岡本喜八生誕100年！

映画とライブでジャズ大名

2024年9月14日(土)に麻生市民館大ホールにて、川崎市ゆかりの映画監督・岡本喜八の生誕100年を記念した上映会を開催します。上映作品は1986年に製作された「ジャズ大名」。幕末の混乱の中、音楽好きの藩主がジャズと出会い、一大ジャムセッションが始まるという奇抜な展開の映画を、35ミリフィルムで上映します。

また今回は、川崎市市民ミュージアムとKAWASAKI しんゆり映画祭による初の共同開催イベントとして、上映だけでなく、生のジャズライブや映画出演者等によるトークイベントも同時開催される、充実の内容となっています。

概要

開催日 **2024年9月14日(土)**

会場 麻生市民館 大ホール
(麻生区万福寺1-5-2)

開演 14:00 (受付開始 12:30)

終了 17:15

定員 600名

座席 自由席

料金 **一般：1,500円** (当日現金払い)

小学生以下無料

障害者およびその介護者1名は無料 ※証明できるものをお持ちください

申込 **事前申込制**

川崎市市民ミュージアム Web サイトの申込フォームからお申し込み

<https://www.kawasaki-museum.jp/cinema/30099>

申込期間：**2024年8月5日(月) 10:00 ~ 8月26日(月) 16:00**

※申込多数の場合は抽選、当選者には9月2日(月)までに当選ハガキをお送りします



(c)KADOKAWA 1986



上映主催：川崎市市民ミュージアム イベント主催：KAWASAKI しんゆり映画祭

協力：株式会社喜八プロダクション、かわさきジャズ実行委員会

後援：「音楽のまち・かわさき」推進協議会 技術協力：有限会社鈴木映画

【スケジュール】	12:30	受付・入場開始	15:50	ライブイベント開始
	14:00	「神奈川ニュース」上映	16:20	休憩
	14:15	「ジャズ大名」上映	16:35	トークイベント開始 (17:15 終了予定)

上映作品「ジャズ大名」

南北戦争後、奴隷から解放された黒人ミュージシャンたちがニューオリンズから故郷へ帰るはずが、嵐に見舞われ日本の駿河湾に流れ着きました。時は幕末、駿河の国の音楽好きの藩主がジャズと出会い、一大ジャムセッションが始まってゆきます。筒井康隆の奇想天外な原作に、ジャズピアニスト山下洋輔が音楽を担当した本作の、見事な編集と音楽に身を任せるクライマックスは圧巻です。

1986 年/85 分/35 mm/ビスタ/カラー/大映

監督：岡本喜八 脚本：岡本喜八、石堂淑朗 原作・音楽：筒井康隆 音楽・出演：山下洋輔 撮影：加藤雄大

《主な出演者》古谷一行、神崎愛、岡本真実、財津一郎、殿山泰司、本田博太郎、今福将雄、小川真司、唐十郎、タモリ ほか

※「ジャズ大名」の前に、市民ミュージアムの収蔵フィルムから厳選した「神奈川ニュース」を上映します。神奈川県内の施策と事業を PR するために製作された「神奈川ニュース」は県内の映画館で本編前に上映されており、今回は川崎市に関連したニュースを紹介します。

ライブイベント

映画「ジャズ大名」で演奏された楽曲の他、会場を盛り上げる生ライブをお届けします。

出演：^{とやまよしお}外山喜雄とデキシーセインツ

“日本のサッチモ”こと外山喜雄（トランペット・ボーカル）と恵子夫人（ピアノ・バンジョー）を中心に 1975 年に結成、今年結成 49 年を迎える最高に楽しくスウィングするデキシーバンド。1968 年に夫妻は移民船に乗り渡米、5 年間ジャズの故郷ニューオリンズで武者修行をした。東京ディズニーランドに開園から 23 年間出演、海外ツアー公演は 20 回を超えるなど国内外で活躍している。2018 年ニューオリンズのジャズ祭で『スピリット・オブ・サッチモ生涯功労賞』を受賞。NHK の朝ドラ『カムカムエヴリバディー』でもサッチモ張りのボーカルを担当、人気を博した。

〈メンバー〉

外山喜雄（トランペット・ボーカル）、外山恵子（ピアノ・バンジョー）、広津誠（クラリネット）、粉川忠範（トロンボーン）、藤崎羊一（ベース）、サバオ渡辺（ドラムス）



トークイベント

「ジャズ大名」に出演された^{ほんだひろたろう}本田博太郎氏、^{おかもとまみ}岡本真実氏と、喜八プロダクションの^{まえだしんいちろう}前田伸一郎氏をお呼びして、岡本喜八監督や映画の裏側についてお話しいただきます。



本田博太郎



岡本真実



前田伸一郎

おかもときはち

岡本喜八 Kihachi Okamoto

1943 年東宝に入社し、『結婚のすべて』（1958）で映画監督としてデビュー。初期の代表作に『独立愚連隊』（1959）、『江分利満氏の優雅な生活』（1963）、『ああ爆弾』（1964）などがあり、『日本のいちばん長い日』（1967）と『肉弾』（1968）は芸術祭文部大臣賞を連続で受賞しました。1974 年に川崎市に喜八プロダクションを設立し、独立した以後も精力的に映画製作を続け、『呐喊(とっかん)』（1975）、『近頃なぜかチャールストン』（1981 年）、『大誘拐』（1991）、『EAST MEETS WEST』（1995）、『助太刀屋助六』（2002）など、娯楽活劇の名手としての手腕を大いに発揮します。

川崎市との縁は深く、生田に居を構えただけでなく、新百合ヶ丘周辺の「芸術のまち構想」のスタートにもなった、麻生市民館建設運動の発起人に名を連ね、川崎市の文化芸術推進に関わったことでも知られています。



(c)喜八プロダクション



【問合せ先】川崎市市民文化局

川崎市市民ミュージアム 前田

電話：044-712-2800